



人の暮らしの、ハッピーな場面に欠かせない。

火の国 阿蘇の
恵みのブランド

然
zen
A s o C i t y

温泉の熱を温風に変え、ハウスのなかに送りこんで栽培。
それが村上一成さんのバラづくりです。

いつてみれば、火山に温められた湯で華麗な花を二年中咲かせる。

薔薇ノ木ニ 薔薇ノ花咲ク ナニゴトノ不思議ナケレド

と詠んだのは明治生まれの詩人北原白秋でしたが、

たしかに、なにごとの不思議はなく咲いているのに

素っ気ない木から生まれるバラのあの絢爛さは奇蹟のようでもある。

育て上げた花束を抱く栽培名人も、

武骨に見えてどこか妖艶……。

品種がきわめて多く、色のバリエーションも豊かな花。

今年ピンクが流行ったから来年も流行るとはかぎらない。

そうしたバラづくり、いちばんの魅力は？

「人の暮らしの、ハッピーな場面に

欠かせないというところでしょうか」

バラ農家 村上一成

あるがまま、という貴さ。

人と自然が共作する阿蘇。